

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	高橋 功太郎	学校名	豊中市立中豊島小学校
実施学年	5年生	教科	理科
单元名	人のたんじょう		

《学びを深めたいポイント》

5年生の理科「人のたんじょう」では、教科書や立体模型、または動画を見て学び、そこからさらに調べ学習をする、という流れで学ぶことが多いように思われる。しかし、調べ学習においては、調べたい内容を見付けることが難しい児童がいたり、逆に、調べたいことがたくさんあり、時間がかかりすぎる児童がいるというように、児童によって内容量や学習のスピードが異なり、同じ時間ですすめるのが難しい。そこで、グループワーク、という手段もあるが、人任せになり、実際には自分で学習を進めることができていない児童が埋もれてしまう。

そこで、児童一人一人が自分なりに課題を見つけ、自分のペースでまとめることができ、また、だれもが学習をとめることなく授業の時間を活用することができるように、SKYMENU クラウドの「気づきメモ」と「発表ノート」を使って、学習を進めることにした。また、調べた内容を共有する際には、「提出箱」を活用した。

《SKYMENU 活用のポイント》

「気づきメモ」では、自分が気になったことをどんどん投稿することができる。そこで、NHK for School の人のたんじょうについての動画を一齐に視聴しながら、気になったことを「気づきメモ」に投稿し、クラスの友だちと疑問を共有しながら番組を見ることにした。もちろん、見ながら打つことが難しい児童は、ノートにメモをしておいて、後から入力することもできるようにした。入力後、同じような内容の投稿が多いと、興味をもっている児童が多いということが分かり、逆に、一つだけの内容があれば、オリジナルの疑問になる。つまり、どんなメモも、価値のあるものになる。また、疑問をどうやってもったいいのか分からない児童は、友だちのメモを見ることで、気づき方が分かってくる。

また、「気づきメモ」には「いいね」機能もある。ただ、目的もなく押させると、押すことが目的になってしまい、人気投票のようになってしまう。そこで今回は、「いいね」という意味で使わせるのではなく「私が調べるよ」という意味で押させることにした。そうすることで、そのメモの疑問はだれかが調べてくれている、ということが全員に分かるようになる。また、調べてみようと思ったけれど、なかなかうまく調べることができなくて内容を変えたい時もある。そんな場合には、「いいね」を取り消すことで、その内容をだれかに託すことができる。さらに、解決したい疑問が多い児童は、その疑問の全てを自分で調べる必要がなくなり、逆に1つも疑問を持たない児童は、友だちの疑問から気になることを選ぶことができる。もちろん、「いいね」が押されていても、自分で調べたいと思えば、さらに「いいね」を押して調べることもよしとした。また、1つの疑問を解決してまとめることができた児童は、2

つ目、3つ目と、時間の許す限り調べ続けさせることで、それぞれのペースで時間いっぱい調べ続けることができるようにした。

調べたことを発表ノートにまとめる際には、自分がテーマに選んだメモを選択することで、その内容をノートに張り付けることができる。また、複数の疑問を調べてまとめる際にも、作成中の発表ノートに張り付けることができるので、いくつ調べても、1つの発表ノートにまとめることができる。これは、調べた後に提出箱を活用して共有する際、個人で複数のファイルが出せないため、非常にありがたい機能である。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント												
導入	教科書や模型を活用し、基本的な知識、学習内容を学ぶ。														
展開	<p>NHK for Shool の人のたんじょうに関する番組を視聴しながら、気になること、もっと知りたいことを気づきメモに投稿する。</p> <p>意見がある程度出そろったら、メモを見返し、自分が調べたい内容を選ぶ。</p> <p>選んだ内容の「いいね」ボタンを押し、調べ活動を始める。</p> <p>調べた内容を発表ノートにまとめる。</p> <p>1つの疑問を解決できた児童は、2つ目、3つ目を調べ、同じ発表ノートにまとめていく。</p>	 <p>児童がまとめた発表ノート↓ 「一人で1つの疑問を解決」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>胎児が大きくなるにつれて、どのくらい体重が増えるのかと、比例しているのかどうか</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>6～7ヶ月</td> <td>28～31週</td> <td>32～35週</td> </tr> <tr> <td>体重</td> <td>一日に14g 増える</td> <td>一日に22g 増える</td> <td>一日に25g増える</td> </tr> <tr> <td>身長</td> <td>一日に0,5cm 増える</td> <td>一日に1,2cm 増える</td> <td>一日に1cm 増える</td> </tr> </table> <p>※上の数字は全て、約</p> <p>結論: 体重は大きくなるにつれて増え具合が増えるけど、身長は増えていたが、32～35週で、減るということが分かった。そして、体重と身長が増え具合は、比例していなかった。</p> </div> <p>「一人で4つの疑問を解決」</p>		6～7ヶ月	28～31週	32～35週	体重	一日に14g 増える	一日に22g 増える	一日に25g増える	身長	一日に0,5cm 増える	一日に1,2cm 増える	一日に1cm 増える	<p>自分が投稿しようとしている内容を友だちが投稿していたとしても、投稿をやめるのではなく、たとえ同じ言葉でも投稿するように指導する。そうすることで、タイピングが遅い児童も、自分の意見を出すことができる。また、同じ内容が複数あれば、多くの人が興味をもっている内容だということが分かり、一つだけの内容の投稿であれば、他とは違う貴重な意見になるので、どの意見も価値のあるものだと指導しておく。</p> <p>発表ノートにまとめる時には、メモを2回クリックし、左側に出る枠の中にある発表ノートをクリックすることで、メモをそのまま張り付けることができる。張り付けたあとは、文字の大きさ等を調整し、見やすいノートを心がけさせる。</p>
	6～7ヶ月	28～31週	32～35週												
体重	一日に14g 増える	一日に22g 増える	一日に25g増える												
身長	一日に0,5cm 増える	一日に1,2cm 増える	一日に1cm 増える												

<p>なんで胎児の頭は凸凹しているのだろう。</p> <p>まだ胎児は骨がちゃんとできてないから骨と骨の間が凸凹して見える</p>	<p>胎児は母親からどう養分をもらっているのか</p> <p>胎児は胎盤から血液の中の養分をもらって成長している。 つまり母親の体調によって胎児の体調も変わる</p>
<p>なぜメダカの受精卵は人の受精卵より大きいのだろうか</p> <p>メダカは自分の中に養分を置いておかないといけないけれど、人間はお母さんから直接もらうからメダカの方が大きい</p>	<p>胎児は病気にかかるのだろうか</p> <p>母が病気を持っていたらなる可能性がある 特に母の年齢が高くなるほど病気になる可能性は上がる。</p>

<p>まとめ</p>	<p>発表ノートを提出箱に出し、お互いに調べた内容を見合う。</p> <p>新たな疑問や解決できなかった疑問は、各個人で時間を見つけて引き続き調べていく。</p>		<p>提出箱には1つのファイルしか出せないため、複数の疑問を別々の発表ノートに作成している場合は、1つの発表ノートに統合させる。</p>
------------	---	--	--

《実践を振り返って》

気づきメモは、全員の気づきをお互いに見合うことができ、またそれがメモとして残ることにとっても価値があるように思える。気づきメモがなければ、児童が手を挙げて当たった児童のみが発表し、さらにその中から数人の意見だけが簡単にまとめたような形で黒板に書かれる。さらに、その内容も消してしまえば分からなくなる。これまで、当たり前のように淘汰されてきた多くの児童の意見をしっかりと拾うことができるので、一人1台の端末を有効活用できる。また、メモから発表ノートに移行する際も、コピーすることができるなど、使い手のことをよく考えられた機能があり、大変便利であった。

発表ノートは、文字の大きさの変化のさせ方や、文字入力や手書きの仕方、写真の張り付け方など、児童が簡単に扱えるように考えられている。また、パワーポイントのように多くの機能がないため、こだわりすぎることなく作成できるのもとてもよかった。